

# 令和2年度学校自己評価システムシート (県立日高高等学校)

目指す学校像 地域の期待に応え、社会で活躍できる生徒を育てる学校

重点目標	1 授業改善を進め、基礎学力の向上を図る 2 基本的生活習慣を確立させ、豊かな心身を育む 3 組織的・計画的な進路指導を充実させ、一人ひとりの進路実現を図る 4 地域・保護者との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

学 校 自 己 評 価								
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<b>【現状】</b> ・わかりやすく丁寧な授業が行われている。 ・授業に満足している生徒の割合は、向上している。 ・資格取得に向けた補習体制が整い、生徒は各種検定合格に向けて努力を重ねている。 ・アクティブラーニングを取り入れた授業改善が進んでいる。 <b>【課題】</b> ・進路希望を叶えるために、それぞれの生徒に応じた学力の向上を図る。 ・ICTを活用した授業づくりをさらに進める	授業改善・基礎学力向上の取組の推進	①教員相互の授業観察や研修会を通じて教員の授業力を向上させ、生徒の基礎学力の定着を目指す。 ②学力向上委員会を中心に、学力向上について具体的に検討する。 ③朝学習、学習サポーター、全クラス配付の新聞4紙を活用して、学ぶ意欲を育成する。 ④学びの基礎診断の一環で基礎力診断テストを活用し、学習到達度を把握し個に応じた学習指導をさらに充実させる。 ⑤各種検定試験に挑戦させ、達成感と向上心を育成する。	①授業公開や研修会を実施できたか。「授業がわかる」、「授業に満足」の回答80%以上。 ②学校全体で学力向上についての共通認識を持てたか。 ③朝学習の実施状況。学習サポーター・新聞を活用できたか。 ④基礎力診断テストの結果を基に基礎学力がどれくらい伸長したか。 ⑤検定試験の受験状況、資格取得状況。				
2	<b>【現状】</b> 落ち着いた学習環境は整いつつある。転退学者も大幅に減少している。 <b>【課題】</b> 基本的生活習慣を確立させるために、さらに段階的・組織的に指導を徹底する必要がある。また、部活動、学校行事等を通じて、自己肯定感を持たせられるよう指導していく。	基本的な生活習慣の確立  部活動、学校行事、体験活動の充実	①挨拶・時間厳守・整理整頓を励行させ、規律ある生活態度を育成する。 ②朝の挨拶運動を継続し、あらゆる場面で挨拶ができる生徒を育成する。 ③TPOに応じた服装指導等を学校全体で実施する。 ①生徒会活動、学校行事に積極的に取り組ませる。 ②部活動の加入を推進し、加入率を向上させる。	①アンケートで「ルールを守らせる指導」、「整理整頓」の回答90%以上。 ②定期的な挨拶運動ができたか。「挨拶をする」の回答90%以上。 ③登校時、全校集会時に実施できたか。 ①学校生活への満足度が上昇したか。 ②部活動加入率が向上したか。				
3	<b>【現状】</b> 各学年とも計画的かつ組織的な進路指導が行われており、卒業生は、ほぼ全員の進路を確定できた。 <b>【課題】</b> 進路に対する意識が希薄な生徒がいる。将来働くことへの意識を高めるような機会をつくり個に応じた進路指導を徹底する。	計画的・組織的な進路指導の推進	①3年間を見通した、計画的かつ組織的な進路指導を実施する。 ②キャリア教育講演会を実施し、生徒の進路意識を向上させる。 ③保護者対象の進路行事や情報発信を工夫することで、家庭の理解や協力をさらに強固にする。 ④生徒をオープンキャンパスや合同企業説明会に積極的に参加させる。	①計画的かつ組織的に指導できたか。進路未定者がゼロに近づいたか。 ②充実した講演会が実施できたか。 ③進路指導に関して保護者との連絡を密にできたか。 ④参加人数とその内容。				
4	<b>【現状】</b> ・地域自治体及び学校との連携が盛んに行われており、地域からの信頼も高まっている。 ・文化祭や体育祭等の学校行事に参加する保護者が増加している。 ・地元小中学校からの信頼も高まり、4年連続で入試倍率が1倍を超え、本校への関心も高まっている。 ・多くの社会貢献活動を実施し、地域への貢献度も高まっている。 <b>【課題】</b> ・学年別懇談会、PTA 総会等の行事の参加者を増やす。 ・学校説明会の内容をさらに充実させ、志願者確保に向けた取組を行う。	本校への保護者の理解度の向上およびPTA活動の充実  積極的な情報発信および地域連携の充実	①PTA だよりを年3回発行し、保護者への広報活動に努めるとともにホームページにも掲載する。 ②一斉配信メールおよびHPでの定期的な情報発信を行う。 ③PTA 理事会を通じて保護者同士のネットワークを構築し、保護者の学校行事への支援と参加を呼びかける。 ①ホームページの内容を充実させ、更新回数年間300回、アクセス数1日平均950件を目指す。また、「日高高校だより」年5回発行を目標とする。 ②学校説明会・体験入学会・イベントミーティングの内容をさらに充実させる。 ③授業公開、出前授業等を実施し、地域や地元小中学校との連携を深め、本校への理解啓発を進める。市や市商工会からのボランティアには積極的に参加し、多くの生徒が地域に貢献できるよう指導する。	①PTA だよりの発行状況。ホームページへの掲載状況。 ②定期的に一斉配信メールやHPで情報発信できたか。 ③昨年度と比べて参加者が増加したか。 ①学校全体で積極的に情報発信できたか。 ②学校説明会等への参加者が増加し、参加満足度が高まったか。 ③各取組の実施状況とその内容。				

学校関係者評価
実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等